

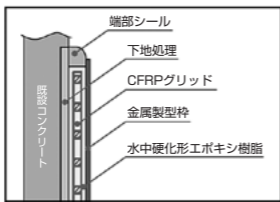
## 水中適用形CFRPグリッド補強工法 日鉄防食（株）

この補強工法は、水中にある橋脚等の鉄筋コンクリート構造物において、経年劣化や耐震強度不足を安価に解決する工法です。補強するコンクリート構造物の表面に、樹脂を含浸させた炭素繊維の格子状繊維束（CFRPグリッド）を、樹脂層により接着し、構造物を補強します。樹脂層を形成するには、型枠を設置し、型枠内部に高流動性の水中硬化形エポキシ樹脂を圧送する方法にて行います。型枠は、漂流物等の外部衝撃から補強層を保護する目的で、永久型枠として金属製型枠を使用することが一般的です。

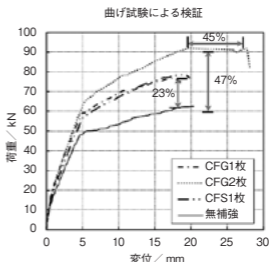
### 特長

1. 水中で潜水士より補強工事を行うため、仮締切によるドライアップ及び大型重機の配置が不要となり安価に補強できます。
2. CFRPグリッドと水中硬化形樹脂は、長期の耐久性を持っています。
3. 炭素繊維は、高強度であり少ない厚さで補強できます。（引張強度が鉄筋の約5倍）
4. 表面は型枠を兼用した緻密なステンレス板構造で耐衝撃性に優れる

### 基本構造



本工法の構成



CFRPグリッド設置



施工完了

※詳しくはお問い合わせください。

#### ご注意とお願い

本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したもの以外は、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や復写はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、あるいは、当社および当社の関連会社で使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。